

# 「環境かるた」について



「環境かるた」は、茨城県立竹園高等学校・保健委員会環境班の生徒さんが、環境問題について一から調べ、絵札や読み札、解説書まですべて自分たちの手で作り上げたかるたです。

自分で調べたり、友達とまとめたものを見せ合ったりする中で、たくさんの発見がありました。この活動をとおして、僕の中で漠然としていた「環境問題」について、何が問題なのか、どうしていけばよいのか、ということに気が付き、学び、考えることができたと思います。(中略) この環境かるたが、僕たちにとってもそうであったように、皆さんにとって少しでも環境問題について考える“きっかけ”になればと思います。

平成 19 年度保健委員会環境班代表 3 年 林田泰和  
 解説書編集代表 3 年 三宅紀貴  
 (環境かるた「解説書」より抜粋)

平成 20 年 1 月、つくば市内のすべての小中学校と児童館に、「環境かるた」が 2 セットずつ、竹園高等学校から寄贈されました。

このかるたには、環境に関するさまざまなテーマがていねいに表現されています。絵札はすべて手描きのイラスト。絵札を描いた奥島麻子さん(当時 3 年生)は、「どうしたら小さい子どもにも読み札の内容が伝わるか、どう描けば楽しんでくれるか、一枚一枚悩みながら時間をかけて描きました。これで子どもたちが楽しく遊んでくれるとうれしいです」と語ってくれました。

どの絵札も、明るくかわいらしい表現で、もちろん子どもたちにも大人気です。



# 第 9 回つくば市立学園対抗 環境かるた大会

平成 29 年 1 月 21 日 (土) つくばカピオ

「環境かるた大会」は、竹園高等学校作成による「環境かるた」を使って、楽しく遊びながら環境についての意識を高めようという目的で平成 21 年から開催されています。

## スケジュール

9:15 開会式 司会進行：大穂学園中学校

- 開会の言葉
- 主催者あいさつ 教育長 門脇 厚司
- 来賓紹介
- 中学生代表あいさつ 大穂学園中学校
- 児童代表宣言 洞峰学園東小学校
- 日程・ルール説明 大穂学園中学校
- 閉会の言葉

9:30 競技開始

- 予選リーグ
- 決勝トーナメント

12:30 閉会式 司会進行：豊里学園中学校

\*競技終了次第行います。

- 開会の言葉
- 成績発表 豊里学園中学校
- 表彰・講評 総合教育研究所 毛利 靖
- 閉会の言葉

運営委員 大穂学園中学校  
 豊里学園中学校



主催：つくば市教育委員会

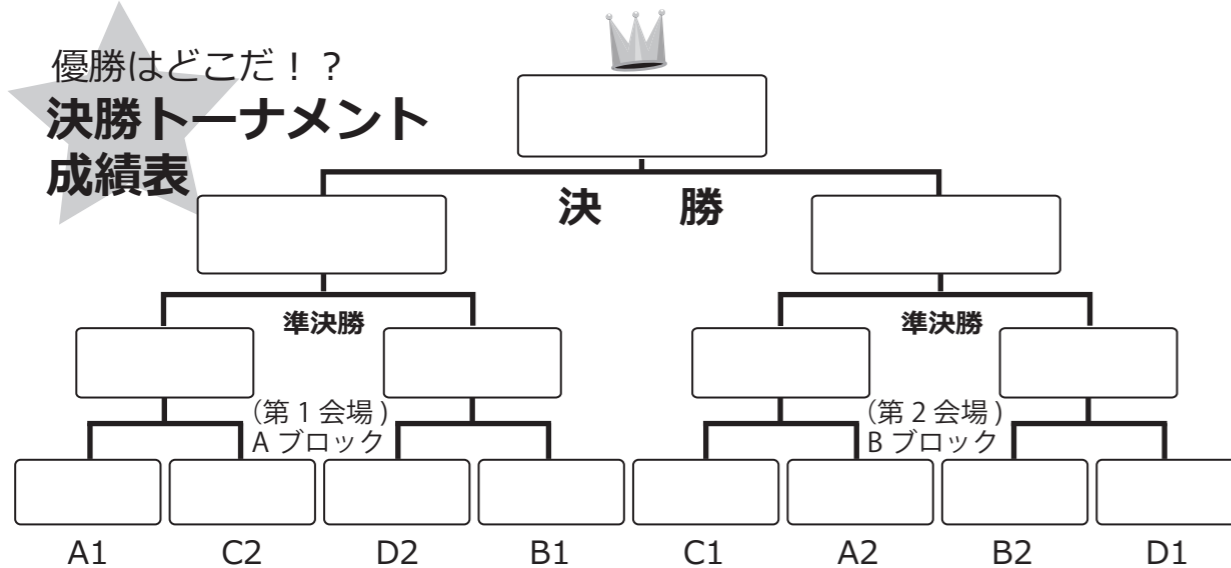


# 予選リーグ 対戦組合せ表 進行予定表

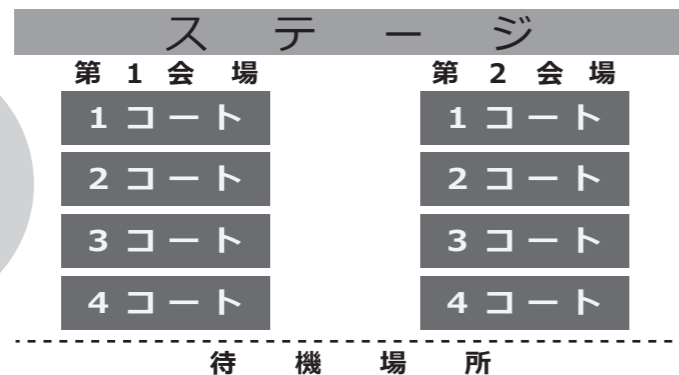
	A	B	C	D
1	大穂学園	高山学園	高崎学園	洞峰学園
2	光輝学園	百合ヶ丘学園	紫峰学園	竹園学園
3	輝翔学園	吾妻学園	桜並木学園	荃崎学園
4	春日学園	桜学園	豊里学園	

	第1会場		第2会場	
時間	対戦	勝敗	対戦	勝敗
9:30	大穂学園 vs 春日学園		高崎学園 vs 豊里学園	
9:40	高山学園 vs 桜学園			
9:50	光輝学園 vs 輝翔学園		紫峰学園 vs 桜並木学園	
10:00	百合ヶ丘学園 vs 吾妻学園		竹園学園 vs 荃崎学園	
10:10	大穂学園 vs 輝翔学園		高崎学園 vs 桜並木学園	
10:20	高山学園 vs 吾妻学園		洞峰学園 vs 荃崎学園	
10:30	光輝学園 vs 春日学園		紫峰学園 vs 豊里学園	
10:40	百合ヶ丘学園 vs 桜学園			
10:50	輝翔学園 vs 春日学園		桜並木学園 vs 豊里学園	
11:00	吾妻学園 vs 桜学園			
11:10	大穂学園 vs 光輝学園		高崎学園 vs 紫峰学園	
11:20	高山学園 vs 百合ヶ丘学園		洞峰学園 vs 竹園学園	

## 優勝はどこだ！？ 決勝トーナメント 成績表



## 会場図



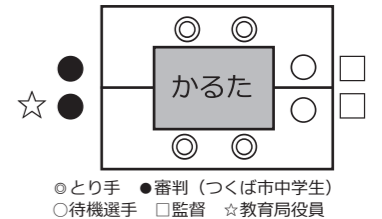
予選リーグ  
第1会場 A,Bブロック  
第2会場 C,Dブロック

決勝トーナメント  
第1会場 Aブロック  
第2会場 Bブロック

## 大会ルール・試合方法

### (1) 試合開始まで

- 審判は、つくば市内中学生（2学園）が行う。
- 各コートには教育局及び中学校引率教諭から担当を1人付ける。
- 各学園の監督は試合前にオーダー表を記入し、審判に渡す。（オーダー表提出後の選手変更、着座位置の変更、学校の位置の変更は行わないこととする。）
- 試合場所は、たたみの上とし、くつを脱いで正座する。
- 待機選手、監督も畳の外側に着座する。寒いことが予想されるので、座布団などを各自準備してもよいこととする。
- 試合開始の状態は、右のとおりとする。（畳の上の位置確認）
- 審判から渡されたかるたを相手側に向けて並べる。（4段外側1枚内側1枚2枚）
- かるたの読み手は審判代表1人（中学生）がマイクを使って行うこととする。そのため、試合中は、保護者も含めて私語を慎むようにする。
- 勝利した学校が多い学園を試合の勝者とする。
- 試合開始及び終了は、審判の指示に従う。
- 試合の準備ができるまで、コートの審判は旗を揚げておく。8つのコートの旗が下がった後に、審判代表1人が読み札を2回読む。
- リーグ戦の途中で、選手登録をした児童以外への変更があった場合、決勝トーナメントには出場できないものとする。
- ※ただし、インフルエンザなどで欠席児童がいる場合、当日朝の受付の際までのオーダー変更は受け付けるものとする。



### (2) 試合について

- 進行上の都合により、予選リーグでの読み札は21枚を読み上げ、勝敗を決することとする。決勝トーナメントからは43枚のかるたを読み上げ、勝敗を決することとする。
  - 先にかかるたに手が触れた者に取得権利が生じる。（審判員の判断に従うが、同時と思われる場合は、引き分けとし、そのかるたは、競技の枚数から除外することとする。）
  - 読み手が読みを始めるまでは、膝（ひざ）に手を置くものとし、足より前に上体が出ない姿勢とする。読み始める前に足から手が離れた場合は、「お手付き」とする。
  - 本読みが始まってからは、床に手を置くこともできるが、その手がかるとに触れた場合は、かるたを取得したものとする。
  - 正解以外のかるとに触れた場合は「お手付き」とする。
  - 両手以外の身体の一部が、かるたに触れた場合は「お手付き」とする。
  - 「お手付き」をした者は、ペナルティとして1回休み（30cm下がる）とする。
  - 場に2枚のかるとが残った時点で競技終了とし、審判が勝敗を決める。
- ### (3) 試合終了後について
- 競技終了後同数の場合には、予選リーグでは引き分けとする。決勝トーナメントでは決定戦を行い、5枚先取した学校を勝ちとする。
  - 決勝トーナメントの出場は、各ブロックを1、2位通過した学校とする。

※各ブロックで勝敗数が同じ場合は、次の順でトーナメント進出学園を決める

- (1) 予選ブロック内全体で、勝利した学校数が多い学園
- (2) かるたの総獲得枚数が多い学園
- (3) かるたの総獲得枚数と対戦した相手学園に取られた総枚数の差が多い方
- (4) 1位の学園との対戦で勝った方
- (5) (1)～(3)でも勝敗が決まらない場合は、決定戦を行い5枚先取した方（3学園以上が対象の場合は、抽選で決定する。）

### (4) 組合せについて

- 予選リーグのブロック数は4ブロック（A～Cは4学園、Dは3学園）とする。
- 決勝トーナメントは8学園で行い、優勝、準優勝、第3位（2学園）、敢闘賞（4学園）を決定し、閉会式において表彰する。
- 決勝戦は第1会場1コートで実施
- 第3位決定戦は実施しない。（2チームを第3位とする）
- 予選リーグが終了次第、決勝トーナメントに出場する学園を会場内掲示板に記入し、決勝トーナメントを行う。